

学校関係者評価（学校評議員会より）

2月15日(月)に開催しました学校評議員会において、今年度の重点的な取組(安全教育、新型コロナウイルス感染症対策、働き方改革、進路状況、学校評価)について説明後、御意見をいただきました。

評議員の方々からの主な質問、意見(要望)等です。

(1) 安全教育(防災関係)について

- 地震ではいざとなると何もできない。防災訓練は慣れた方が良いと思う。1回でも多くやってほしい。
- 防災教育では、いろいろな場面での訓練があり繰り返し行うことが重要であると認識した。
- 防災訓練は、学校でも家でもやっていくことが必要だと感じた。

(2) 新型コロナウイルス感染症対策について

- スクールバスが増車になったが、乗車率は？ →密にならないよう、約50%の乗車率になっている。
- コロナ対策は良くやっていると思う。
- コロナ対策では、クラスターを出さないことが重要。本施設では、外部との接点を極力閉ざす方策をとっている。そういう意味では学校に感謝している。ただ、無症状から広がるのが怖い。
- 家族が新型コロナウイルス感染症に感染した場合、障害をもつ子の預かり場所が無いことが不安である。家庭や学校で感染者が出た場合のシミュレーションをしておくが良い。

(3) 学校における働き方改革について(2年目)

- 有給休暇の取得状況は？(質問)
→自由にとれる環境にあると思われる。児童生徒下校後や長期休業中に取得する職員が多い。
- 私が勤めた会社で、以前「簡プラン」～仕事を無くす 変える 統合する～ ということをした。自分の仕事は見えないが、他の人のことは見えるので、意見を聞き入れてみる。学校と企業の違いはあるが、何か変わったことを提案していかないと働き方は変わらない。
- 働き方改革は自分の職場でも意識することで残業が減ってきている。個人によって満足する仕事の度合いに差はあると思うが、継続的に取り組んでほしい。

(4) 進路状況について

- 実習に関しては、今の状況では実施が難しい。今の努力を継続してほしい。
- 会社の業績が悪くなると障害者が解雇になることが多い。そういう時の相談や支援を親の会でできると良い。

(5) 学校評価(学校関係者評価)について

- 学校評価が良くまとめられている。評価については、改善策がうまく良い。
- 学校評価は、保護者は子どもを預かってもらっているので、高く評価している。少しでも厳しい評価があったら受け止めて検討し、今後に活かしてほしい。

次年度へ向けての改善策・提案など

- 1 緊急地震速報を用いた避難訓練は継続して実施する。
- 2 新型コロナウイルス感染症対策は今後も県の指針に従って実施していく。感染者が出た場合も、県のマニュアルに沿って対応する。
- 3 働き方改革については、業務の削減、統合など組織的な見直しができるか検討する。また、それぞれの意識改革を進めていく。
- 4 卒業した後の相談・支援については関係機関と連携した対応を進めていく。
同窓生と親の会でも、情報交換の場がもてるよう働きかけていく。
- 5 学校評価のよりよい効果的な活用について継続して検討していく。